

議会から こんにちは

2025 **2.1**
令和7年



11月30日、12月1日・7日・8日の4日間、ライトアップイベントとして閑馬町の人間国宝 田村耕一美術館でイルミネーションが点灯されました。青くライトアップされたイルミネーションの光が、石や砂紋を引き立て、昼間とは違った枯山水の静寂を表現していました。

令和6年12月定例会

■一般質問に19人が登壇

さの 市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。→



佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索

はやかわ
早川たかみつ
貴光 議員

地方財政について

Q 所得税の基礎控除などを103万円から178万円に引き上げた際に、本市がどの程度減収になるのか伺いたい。

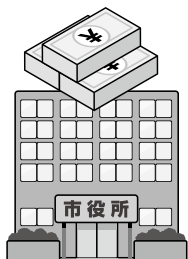
A **総合政策部長**

所得税の基礎控除の引上げについては現在国会等において議論されているところですが、年収の壁と言われている103万円とは、給与所得控除の55万円と基礎控除の48万円を合計したもので、この合計額を178万円に引き上げようという一つの考え方です。

現時点では、給与所得控除や基礎控除を幾らにするかということは未確定の状況です。このことから、仮に市民税の基礎控除を75万円に引き上げるとした場合の市民税の影響額を試算すると、およそ20億円程度の減収になると見込まれるところです。

その他の質問

☆市職員が安心して働くことのできる環境整備について
☆男女共同参画について

こもり
小森 隆一 議員

(公明党議員会)



市民サービスの充実について

Q 佐野市公式ラインについて、市民がさらに便利になる機能を集め、さらなるDXを実践するために、市民・企業・地域・行政をつなぐ共通プラットフォームの充実進化を要望するが、見解を伺いたい。

A **総合政策部長**

本市では、情報発信手段の一つとしてラインを活用しています。現在ごみ出しや手続き案内、イベント検索などができるよう市民と行政をつなぐ共通プラットフォームとして活用しているところです。今後自治体DXを推進する上で、ラインを用いたサービスの拡張や別のプラットフォームの導入などが想定されますが、市民サービスの向上に向け、関係各課とともに調査研究を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆健康長寿推進とまちづくりについて
☆不登校対策の推進について
☆子どもの居場所づくりと学びの充実について
☆地域公共交通について

けいの
慶野つねお
常夫 議員
(政友みらい)

本市の都市公園について

Q グランディ新都市セントラルパーク(新都市中央公園)は様々な理由から支障物となる建物は極力配置しない計画で整備したとのことだが、市民の声を受け止め、日よけ対策の取り組みを行ってほしいと考えるが、本市の考えを伺いたい。

A **都市建設部長**

設置しているあずまや、シェルター以外の日よけを造る具体的な計画は現在ありません。ここ最近の酷暑での公園利用に際しては、適切な時間帯・服装で熱中症等に気をつけながら過ごしていただき、場合によっては利用を控えていただくことが現時点においての一番の対策であると認識しています。

なお、ペグを使用しないテントやタープ等を持参の上、周りの利用者の迷惑とならないよう使用していただくことは可能となっています。

その他の質問

☆電気自動車(EV)用充電設備について
☆ラーケーション制度について
☆就学相談について





じんぐうじ ひでき
神宮次 秀樹 議員
(政友みらい)



ふるさと納税の今後の展開について

Q クラウドファンディングの要素を含めた民間団体等への支援事業や新しい返礼品の創出を検討すべきと思うが、見解を伺いたい。

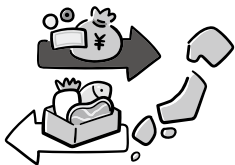
市長

A 令和7年度の予算編成において、クラウドファンディング型のふるさと納税が適している事業については、活用の検討を進めています。

一方で、民間団体等の支援型のふるさと納税を用いたクラウドファンディングについては、本市では現時点においては実施していませんが、様々な自治体で取り組みを進めていますので、本市においても地域課題の解決に資する民間団体への活動支援について、クラウドファンディングによるふるさと納税が活用できるように、制度改正を念頭に準備を進めていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆11月に行われた駐日外交団による地方視察ツアーについて
- ☆避難所の民間企業との取り組みについて
- ☆アイバンクについて



やますげ なおみ
山菅 直己 議員
(政友みらい)



令和7年度の重点施策等について

Q 令和7年度佐野市行政経営方針の重点施策に、小・中、義務教育学校の屋内運動場の空調設備に着手し、全校の早期の整備を図るとあるが、小学校16校、中学校6校、義務教育学校2校を二斉に着手するのか、スケジュールを伺いたい。

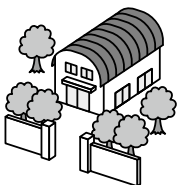
教育部長

A 令和6年12月末までに空調方式及び事業方式の検討結果がまとまる予定です。令和7年1月から4月にかけて、小中学校等の屋内運動場24施設の公募資料の作成を行い、工期短縮効果が期待できる設計施工一括発注であるDB方式を想定した場合5月から8月に事業者の選定を行い、議会の承認をいただいた後、10月以降の本契約を予定しています。

なお、各学校の工事については同時に着手し、令和8年度に設置が完了するよう進めていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆令和7年度佐野市行政経営方針について
- ☆令和7年度の取り組みについて
- ☆人口減少について



きむら ひさお
木村 久雄 議員
(公明党議員会)



環境政策について

Q 国では令和7年2月までに国連に提出することが求められている温室効果ガスの新しい削減目標について、12月25日に開かれた有識者委員会の中で、2035年度に2013年度比で60%削減するという案を示したが、本市においても紙おむつのリサイクルや食品ロスの削減を含めた踏み込んだ目標を立て、CO₂の削減を推進する必要があると考えるが、いかがか。

市民生活部長

A 使用済紙おむつをリサイクルすることでの減量化につながり、食品ロスの削減でごみの減量化プラス水分を含んだ生ごみ等を削減することにより燃焼効率が上昇し、CO₂の削減が図れるものと考えています。本市のカーボンニュートラルの実現にそういったことをつなげていくため、今後積極的に取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

- ☆孤独・孤立対策について
- ☆農業活性化について





たきた ようこ
滝田 洋子 議員
(日本共産党議員団)



小規模特認校の現状とこれからについて

Q 小規模特認校制度とは、通常の学区にかかわらず、佐野市全域どこからでも通学できる制度である。地域の人たちが地域に小学校がなくなると地域コミュニティがなくなってしまう危機感を持ち、学校行事や奉仕活動に協力していると、校長先生から説明があった。子どもたちが伸び伸びとしている様子を栃木市立国府南小学校の視察で感じた。

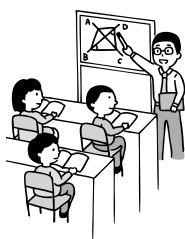
小規模特認校は市内に4校あるが、特認校としての特色を生かされているのか伺いたい。

A 教育長

小規模特認校4校では、小規模校のよさを生かし、児童一人一人の活動へのきめ細かな指導や支援を行ったり、地域との共催行事を実施したりするなど、特色ある学校運営を行っています。例えば学習については、個別指導の充実を図り、個々の学習進度に合わせた丁寧な学習指導が行われています。

その他の質問

☆学校給食について
☆不登校児童生徒への支援について



くぼ たかひろ
久保 貴洋 議員
(大樹会)



閉校となった学校跡地の活用について

Q 旧下彦間小学校跡地活用に向けて、特定された事業者(遠藤食品株式会社)の提案内容について伺いたい。

A 市長

提案内容については、下彦間地区の活性化や地域への貢献、地元雇用機会の創出などを主な目的とし、飲食店やレンタルスペース、各種イベント会場など様々な活用や企画の提案がありました。また、地域の要望に対しては、下彦間コミュニティ推進協議会や下彦間地区むらづくり推進協議会と連携しながら、地域イベントやスポーツ活動等に協力し、体育館や校庭を開放することとなっています。

その他、地域防災に貢献するために、防災行政無線や降雨量観測用雨量計の継続使用への協力、防災、災害対応等を学べるイベントやセミナーの開催等が提案されています。

その他の質問

☆下彦間地区で発生した巨木倒木について
☆地域計画の策定について
☆有害鳥獣害対策について



よこい ただゆき
横井 帝之 議員
(新風)



佐野市文化会館改修工事期間中の対応について

Q 現在の文化会館の工事による休館中に発表会のイベント等を行う会場確保として、田沼中央公民館や佐野市中央公民館にもホールがあるが、入場料を徴収しないイベントなどの開催について、団体や企業が主催する場合の利用条件を確認したい。

A 教育部長

公民館で団体、企業がイベントを行う場合の利用条件ですが、社会教育法及び佐野市公民館利用条例において、専ら営利を目的とする場合や公序良俗を乱すおそれがある場合などに利用ができない旨の規定があります。団体や企業が営利を目的とする入場料を徴収しない発表会等のイベントを主催する場合には、それ以外の条件として団体への入会勧誘を行うことや、商品の販売を主目的とする等の営業活動に類する行為を行わなければ、利用は可能であると考えています。

その他の質問

☆X(旧Twitter)の運用について
☆空き店舗等活用に基づいた創出事業について
☆城東中学校区小中一貫校に関するアンケート調査について



すがわら とおる
菅原 達 議員
(公明党議員会)



フェーズフリーの推進について

Q 医療や福祉、教育、経済対策など、ほかに解決しなければならぬ目の前の課題を前にして、日常においてコストとなる防災をビジネスとして成立させることの難しさ、そして仮にそれを度外視し、防災を企業の社会的責任や社会貢献として捉えたとしても、そこには限界が生じるといった指摘を真摯に受け止めると、国際防災拠点さのが、机上から発した極めて実現可能性が低い構想であることを改めて認識する必要がある。せめて国際の冠を外した上で、佐野市の現状をしっかりと直視し、今回提唱したフェーズフリーの概念の下で再考すべきと考えるがいかがか。

A 市長

今後も国際防災拠点の取り組みの中で、フェーズフリーのまちづくりという視点も入れながら考えていきたいと思っています。

その他の質問

☆児童発達支援の課題と改善について



つるみ よしあき
鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



近沢林道の違反盛土について

Q 盛土が行われてから3年以上が経って、相当な量になってきている。強制撤去、行政代執行になると、億単位のお金がかかってくるが、今後解決に向けてどのように取り組むのか、その予定を伺いたい。

A 市長

令和7年4月より県が指導等の主体となる宅地造成及び特定盛土等規制法が運用開始され、盛土に係る責任の所在や罰則が強化されることになっていきます。

本市としまして、当該法律に基づき、引き続き県及び県警等の関係機関と連携し、解消に向けて取り組んでいきたいと考えています。令和7年4月より責任の所在や罰則が強化されることをもって、改めてその取り組みを積極的に行っていくと考えています。

その他の質問

☆教育行政について



ながはま なるひと
長浜 成仁 議員
(政友みらい)



リトルベビー(低出生体重児)について

Q 赤ちゃんの駅で搾乳もできるようにしたら良いと考えている。他自治体では搾乳もできることが分かるシンボルマークを作成、導入して掲示しているところもあるが、本市の見解を伺いたい。

A いづも福祉部長

本市の赤ちゃんの駅は、おむつ替えと授乳の両方、またはいずれか1つが可能な場所として設置されています。

県や先進自治体の取り組みを参考にしながら、公共施設及び民間施設の授乳ができる赤ちゃんの駅に搾乳のみでも利用ができる旨のピクトグラム及び案内文の表示を進めるとともに、ホームページやSNSなどで情報発信に努めていきます。

その他の質問

☆中山間地域の活性化について
☆公共交通網の整備について
☆国際防災拠点さの整備方針について





たどし
田所 良夫 議員
(新政クラブ)

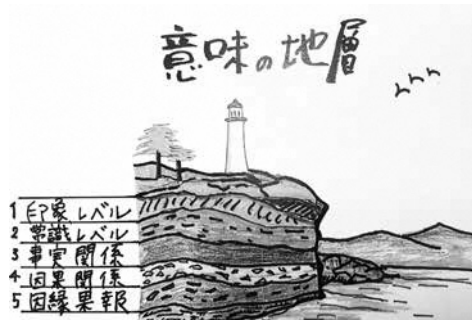


国際防災拠点の創設、防災関連企業の誘致について

Q 本市には、地域防災計画や国土強靱化地域計画があり、防災について十分間に合うと考える。国際防災拠点とのをやらなかった場合の、佐野市政への悪影響、デメリット、佐野市民に対する危険性、リスク、デメリット等について伺いたい。

A 総合政策部長

防災については、本市の国土強靱化地域計画及び佐野市地域防災計画によって、安全安心なまちづくりをしていくことについて、そのとおりです。この国際防災拠点との取り組みは、それにプラスする形で佐野市の防災力を高める機能があるものです。それ以上でもそれ以下でもありません。



はるやま
春山 敏明 議員
(新風)



持続可能で強靱、そして市民生活の質の向上を目指す「令和7年度佐野市行政経営方針」より「重点施策の選定と各施策の取組方針」について

Q 企業誘致の促進(重点施策)より、地域未来投資促進法に基づく重点促進区域に位置づけた植下町65ヘクタールに関し、積極的に企業誘致を図るとした次年度計画案について伺いたい。

A 市長

現在栃木県及び金融機関等と連携を図りながら、企業誘致セミナー等への参加や市ホームページでのPR活動を実施するとともに、立地を希望する企業や企業から依頼を受けたゼネコン・ディベロッパー等からの問合せに対し、民間開発が可能なエリアの事業概要や制度説明、現地視察の受入れ等を行っているところです。

令和7年度の構想ですが、立地企業の早期決定を目指し、県や金融機関等と連携を図りながら、引き続き企業誘致に取り組んでいきます。

その他の質問

☆佐野市審議会等への女性登用について
☆第2次佐野市総合計画中期基本計画最終年の「令和7年度予算編成」について



おぐら
小倉 健一 議員
(志翔会)



磯山弁財天について

Q 近年、参拝や散策、お水取りなど、このエリア一帯の磯山公園には全国から多くの来訪者が確認されている。磯山弁財天の文化財要素等の認識について伺いたい。

A 教育部長

磯山弁財天は、山腹にある弁財天からの眺望が豊かなことや四季折々の磯山の景色、麓にある日本名水百選の出流原弁天池と併せて、市内外から多くの人が訪れる市内有数の観光名所となっています。磯山弁財天は数回焼失していますが、藤原秀郷が創建し、現在の建物は鎌倉時代の再建と伝えられていることから、貴重な建造物であると認識しています。

その他の質問

☆大規模災害時における本庁舎機能の確保について
☆佐野市のまちづくりに



▲ 磯山弁財天



高橋 たくはし

(大樹会) 功 議員
いさお

新たな鳥獣害対策について

Q テクノロジーの活用としてICT機器の代表的な例はセンサーつきのわなやおりだが、鳥獣害対策のテクノロジー技術活用の推進についての現状と今後について伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

捕獲活動に関してのテクノロジー活用については、現状は遠隔操作による自動捕獲システムを備えたスマートフォン等により、監視や閉扉可能な囲い的な2基を、主にニホンザルの群れの捕獲を目的に設置しています。

また、今後については、捕獲の省力化を図り捕獲従事者を増やすため、ICTを活用したわなの捕獲通知システム等の導入を検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆佐野市の将来の農業のあり方を考える地域計画の策定について
☆田んぼダムへの取り組みについて



澤田 さわだ

(大樹会) 裕之 議員
ひろゆき

消防団活性化推進基本計画について

Q 若年層の消防団への入団促進は、地域防災力の維持、向上において最重要課題の一つである。若年層等への入団促進の取り組み状況について伺いたい。

A 市長

若年層への入団促進は、消防団活性化における最優先事項です。現在消防団と協力しながら、各種取り組みを推進しているところです。令和6年5月には、県内で初めて現役の女子高校生が本市消防団に入団しました。来年度は、市内全高校等に対し出前講座の開催を要請していきたいと考えています。今後については、消防団活動のPR動画を作成し、本市の公式SNSなどで幅広くPRをするほか、就職等に有利な学生消防団活動認証制度の導入についても検討を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆佐野市合併20年について
☆中小企業に対する支援について



杉原 まさお

(政友みらい) 政夫 議員
まさお

2学期制及び義務教育学校について

Q 2学期制の利点と課題について伺いたい。

A 教育長

2学期制の利点としては、学期が長くなったことで各学校で特色ある教育活動を計画し実施できていること、授業時数が確保され教職員が児童生徒と向き合う時間が増えていること、教職員の業務の負担軽減となり働き方改革につながっていること等が挙げられます。

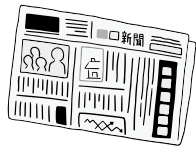
課題としては、1学期の終了と2学期の開始の間が短く児童生徒の気持ちの切替えが難しいため、終業式や始業式の在り方を工夫することが挙げられています。また、ゆとりのある期間に学校行事が続くことで児童生徒や教職員に負担をかけている場合もあるため、改善が必要なことも挙げられています。

その他の質問

☆子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりについて
☆生活保護について



その他の質問
☆佐野市制20周年について
☆仮称ハラスメント防止条例
の制定について



A 市長
税の優遇制度については、市民の皆様、そして報道関係者の皆様方からもご指摘がありましたので、私としてもそのことを真摯に受け止め、今後を引き締め、市政運営に当たっていききたいと思っています。今後はそのような控除は行いません。

Q 政党支部に寄附をして税優遇を受けたことに対し、市長の後援会事務所職員は「市長は説明するようです」と言っていたようですが、なぜ説明をしなかったのか伺いたい。

新聞報道における市民からの意見と
問合せについて



鈴木 靖宏 議員
(新政クラブ)



▶ 令和6年第6回定例会（12月定例会）審議された議案等と結果

第6回定例会（12月定例会）は、12月6日（金）から12月23日（月）までの18日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
決議案第 1号	指定管理者選定における疑義の解明に向けた調査に関する決議について【10ページに掲載】	原案可決	賛成多数
議員案第 2号	佐野市議会の個人情報の保護に関する条例の改正について【10ページに掲載】	原案可決	賛成全員
報告第 12号	市長の専決処分事項の報告について【令和6年3月21日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—
報告第 13号	市長の専決処分事項の報告について【令和6年2月28日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—
議案第 96号	市長の専決処分事項の承認について【令和6年度佐野市一般会計補正予算（第7号）歳入歳出予算の総額にそれぞれ53,491千円を追加】	承 認	賛成全員
議案第 97号	人権擁護委員候補者の推薦について【西沢 淳子氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第 98号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について【刑法及び地方自治法の改正に伴い、所要の規定を整理するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員
議案第 99号	佐野市男女共同参画推進条例の改正について【男女共同参画の推進に関する基本理念を改め、並びに権利侵害の禁止の規定に性的指向及び性自認を理由とする事項を追加するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第100号	佐野市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正について【職員の特殊勤務手当の種類等の規定を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第101号	佐野市国民健康保険税条例の改正について【国民健康保険税の課税限度額及び税率を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第102号	消防ポンプ自動車の取得について【消防ポンプ自動車の取得】	原案可決	賛成全員
議案第103号	佐野休日歯科診療所の指定管理者の指定について【佐野休日歯科診療所の指定管理者の指定】	原案可決	賛成全員
議案第104号	佐野共同高等産業技術学校の指定管理者の指定について【佐野共同高等産業技術学校の指定管理者の指定】	原案可決	賛成全員 (除斥1名)
議案第105号	とちぎ南西消防通信指令事務協議会の設置について【とちぎ南西消防通信指令事務協議会を設置することについて、足利市との協議】	原案可決	賛成全員
議案第106号	令和6年度佐野市一般会計補正予算（第8号）【歳入歳出予算の総額にそれぞれ486,687千円を追加、継続費、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正】	原案可決	賛成全員

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
議案第107号	令和6年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ3,255千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第108号	令和6年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ11,500千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第109号	令和6年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ8,813千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第110号	令和6年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ171千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第111号	佐野市長等の給与及び旅費に関する条例及び佐野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について【市長、副市長及び市議会議員の令和6年12月以降に支給する期末手当の支給率を改めるための関係する条例の改正】	原案可決	賛成多数
議案第112号	佐野市職員の給与に関する条例及び佐野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の改正について【給料表及び期末手当等の支給率を改め、並びに所要の規定を整備するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員
議案第113号	令和6年度佐野市一般会計補正予算(第9号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ310,857千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第114号	令和6年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ8,001千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第115号	令和6年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,313千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第116号	令和6年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ8,524千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第117号	令和6年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,012千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第118号	令和6年度佐野市水道事業会計補正予算(第1号)【収益的支出の予定額に850千円を追加、資本的支出の予定額に1,725千円を追加、職員給与費の予定額に2,530千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第119号	令和6年度佐野市下水道事業会計補正予算(第1号)【収益的支出の予定額から4,683千円を減額、資本的支出の予定額から303千円を減額、職員給与費の予定額から5,201千円を減額】	原案可決	賛成全員
陳情第 6号	道路接続(飛駒町中木戸～下彦間町家隆地内間)についての陳情【11ページに掲載】	採 択	賛成全員

※議案第104号において、山菅議員が除斥となりました。

※除斥とは、議会における審議の公正を期すために、審議案件と一定の利害関係を有する議員は当該案件の審議に関わることをできないとする制度のことです。

▶ 賛否が分かれた議案等

議案等番号	件 名	議決結果	賛成	反対	議員名 〔議席番号順〕																							
					1	2	3	4	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
					長浜成仁	蘆原政夫	神宮次秀樹	小森隆一	早川貴光	小倉健一	金子保利	慶野常夫	川嶋嘉一	菅原達	木村久雄	田所良夫	鈴木靖宏	久保貴洋	澤田裕之	滝田洋子	鶴見義明	小暮博志	山菅直己	春山敏明	横井帝之	飯田昌弘	高橋功	
決議案第 1号	指定管理者選定における疑義の解明に向けた調査に関する決議について	原案可決	13	9	○	○	○	○	×	○	○	×	議長	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	
議案第111号	佐野市長等の給与及び旅費に関する条例及び佐野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について	原案可決	20	2	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	

※○＝賛成 ×＝反対

※川嶋嘉一議長は採決に加わりません。

決 議 案 の 審 議 結 果

決議案第1号

指定管理者選定における疑義の解明に向けた調査に関する決議について

(提出者)菅原達議員、(賛成者)横井帝之議員により、指定管理者制度の在り方調査特別委員会において調査を進めてきましたが、当該委員会に委任されている地方自治法第98条第1項の権限では疑義の解明ができないことから、新たに地方自治法第100の権限を追加して委任するため、指定管理者選定における疑義の解明に向けた調査に関する決議案が提出され、常任委員会への付託を省略し、本議会において賛成多数で可決されました。



▲全文は、こちらから
ご覧になれます。

指定管理者選定における疑義の解明に向けた調査に関する決議

指定管理者選定における疑義の解明に向けた調査に関することについて、地方自治法第100条の規定に基づく調査を次のとおり実施する。

1 調査事項

- (1) 募集要項の変更における疑義に関する事項
- (2) 選定過程における疑義に関する事項
- (3) 市長と当該事業者との関係性の疑義に関する事項

2 調査権限

本議会は、1に掲げる事項の調査を行うため、地方自治法第100条第1項の権限を指定管理者制度の在り方調査特別委員会に委任する。なお、地方自治法第98条第1項の調査は引き続き行うものとする。

3 調査期間

指定管理者制度の在り方調査特別委員会は、1に掲げる事項の調査が終了するまで、閉会中もなお調査を行うことができる。

4 調査経費

本調査に要する経費は、本年度においては、80万円以内とする。

議 員 案 の 審 議 結 果

議員案第2号

佐野市議会の個人情報の保護に関する条例の改正について

▼提案理由

刑法及び地方自治法の改正に伴い所要の規定を整理するため、条例の改正を提案しました。

▼審議結果

常任委員会への付託を省略し、本会議において賛成全員で可決されました。



▲全文は、こちらから
ご覧になれます。

陳 情 の 審 議 結 果

陳情第6号

道路接続(飛駒町中木戸～下彦間町家隆地内間)についての陳情

▼陳情人

個人情報のため非公開

▼陳情の要旨

9月19日午前4時頃、下彦間町北部のレインボー薬品株式会社倉庫北付近の県道66号桐生田沼線にて、巨木の倒木が発生し、佐野・足利方面の通勤、通学としての道路が約8時間にわたり通行不能に陥り、また倒木の影響による架線の断線により、電気の停電・一部地域の断水も約8時間発生しました。これらにより、地域住民の安全安心のための緊急車両も通行できないなど、多大な影響がありました。このようなことから、工事途中となっている彦間川右岸、飛駒町中木戸～下彦間町家隆地内間の接続道路の着工をお願いしたく陳情します。



▲全文は、こちらからご覧になれます。

▼審議結果

建設常任委員会に付託され、賛成全員で採択となりました。本会議においても賛成全員で採択となりました。

令和7年2月定例会日程(案)

令和7年2月定例会の日程は、2月7日(金)の議会運営委員会で内定し、2月14日(金)の本会議で決定します。

2/3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)	8日(土)	9日(日)
請願・陳情 提出期限(17:00)				10:00 議会運営委員会		
10日(月)	11日(火・祝)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)
				10:00 本会議 (開会、予算大綱・ 議案説明)	休会	休会
17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)	22日(土)	23日(日)
休会	10:00 本会議 (予算大綱・議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
24日(月・祝)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	3/1日(土)	2日(日)
休会	10:00 本会議 (一般質問)	9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	休会
3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)	8日(土)	9日(日)
9:00 予算審査 特別委員会	9:00 予算審査 特別委員会	9:00 予算審査 特別委員会	9:00 予算審査 特別委員会	9:00 予算審査 特別委員会	休会	休会
10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)
休会	休会	10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決、閉会)				

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案・請願・陳情の件数が6件以下の場合は午前10時に開会し、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

行政視察報告

視察を実施しました。以下のとおり研修内容を報告します。

総務常任委員会

10月7日(月) 兵庫県三木市

「みきで愛(出会い)サポートセンターについて」

縁結び事業開始の背景は2005年の合計特殊出生率1.07と県内最低水準となったこと。平均年齢69歳のサポーター部会は結婚相談、お見合い相手の紹介等を実施し、2024年3月現在、成婚者は132組。「縁結びの三木」を掲げ積極的に取り組まれていました。

委員の所見

事業は単なる婚活支援ではなく、サポーターと相談者が地域で生きがいを持つ社会福祉の役割を担っていることが理解できました。本市のアンケートでは「パートナーが見つからないこと」に40%が不安に感じているとのこと。成婚1点に完結させない寄り添う取り組みが求められています。

10月8日(火) 大阪府泉佐野市 「ふるさと納税の取り組みについて」

総務省が制度導入の2008年度から財政健全化を進める過程で



取り組みを始め、2023年度寄附額は約175億円で全国3位。使い道として、社会問題解決の支援に繋ぐプロジェクト指定の寄附も推進。「ふるさと納税のまち」として再び寄附受入額No1を目指しています。

委員の所見

各自自治体がふるさと納税制度へ参加していく中、常に先頭に立って様々な取り組みを行っています。「アイデア力」で行政、市民一丸となって挑戦し続ける泉佐野市。説明、受入の姿勢も印象的でした。得られた貴重なアドバイス等は今後の取り組みへ活かしていきます。

厚生常任委員会

10月30日(水) 北海道美唄市

「病児保育」にこころルームえがおについて」

子育て世帯の移住・定住施策や、働きながら安心して子育てができる環境整備の一環として、平成29年に市立美唄病院内に「美唄市病児保育室」にこころルームえがおを開設しました。保育室は2室あり、通常2名まで利用できます。

委員の所見

病児保育室が病院内に設置してあり、お子様の急な体調変化にも対応できるので、保護者の方も安心して預けられると思います。利用する保護者の方の多くは、公立保育園の保育士とのことでした。なかなか仕事を休めない方のニーズにもマッチしていると感じました。

10月31日(木) 北海道旭川市 「旭川市動物愛護基金について」

旭川市動物愛護基金は、動物愛護・管理に関する事業の財源とするため、寄付金の受け皿として令和3年2月に設置されました。当基金は、主に動物愛護センター



運営、猫の不妊措置、動物愛護の普及啓発に関する経費に充てられます。

委員の所見

猫の多頭飼育崩壊の原因の一つに、飼い主が介護施設に入所し、ペットのお世話をする人が周りになくなってしまいうケースがあると聞きました。当センターは、今の時代により必要とされる施設であると思うとともに、動物を飼育する責任を痛感しました。

各常任委員会

市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政

経済文教常任委員会

10月29日(火) 一般社団法人
奈義じごえん

「こども・子育て事業について」

奈義町では子育てをしている母親やシルバー・シニア世代の声に比べ、短時間のワークシェアリング事業を行っています。コンビニに行くように気軽にでき、色々な種類の仕事があり、自由に選べるようになっていきます。全国的に注目されている取り組みとなっています。

委員の所見

当時の総理大臣も視察に訪れる視察地です。当事業は、奈義町の合計特殊出生率は2.95を支える大切な事業の一つであり、特に雇用されるのではなく、業務委託契約を結ぶ点に注目しました。佐野市においても導入の調査・研究に活かせると思いました。

10月30日(水) 岡山県玉野市

「産業創出の取り組みについて」

玉野市はライフスタイルや働き方の変化に合わせたワーケーションツアーを実施しています。「遊んでよし・働いてよし・暮らしてよし」を3つのポイントとして、「ここで

建設常任委員会

10月7日(月) 滋賀県東近江市

「自動運転サービスについて」

中山間地域における地域の足の確保という課題解決に向けた手段の一つとして道の駅奥永源寺溪流の里を拠点とした自動運転サービスの実装し、将来的にはコミュニティバスと接続することによる高齢者の移動の負担軽減などを目指して、安定的な事業継続に向けた運営を行っています。

委員の所見

今後、さらに高齢化が進行する中で、自動車等が運転できない高齢者の増加が見込まれ、交通弱者の生活を支える地域に密着した公共交通の需要が高まることが予想されていることから、本市においても調査や研究を行っていくことの必要性を感じました。

10月8日(火) 愛知県豊田市

「水道のDXによるインフラ整備について」

豊田市では、水道管のインフラ老朽化や調査の人手不足などが課題となる中で、人工衛星とAI(人工知能)を活用した効率的な維持管

理を実現する取り組みとして、劣化予測診断や漏水エリア特定診断、漏水リスク調査などの「水道管の健康診断」についての説明を受けました。

委員の所見

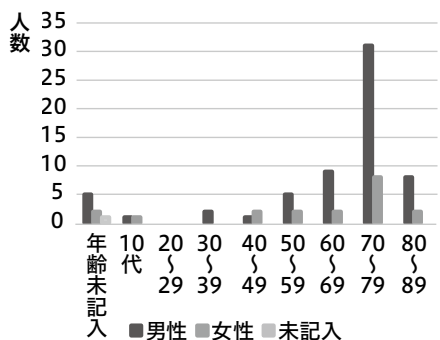
デジタルトランスフォーメーションを活用して、現在の調査方法と比べて飛躍的に漏水箇所を特定できることは先進事例であると思います。本市においても人工衛星とAIを活用した水道管の維持管理を実現するため、導入に向けての調査・研究を行うことが必要であると思いました。



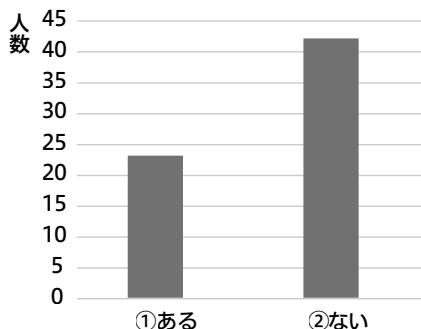
報告会を開催しました。

★ アンケート結果 ★ 回収枚数65枚

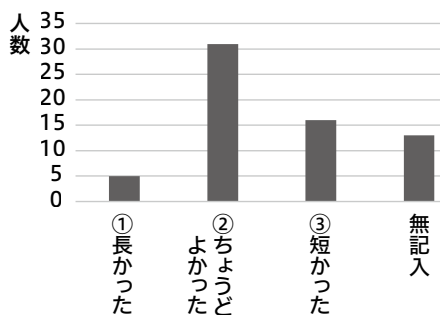
性別・年齢別人数(合計82名)



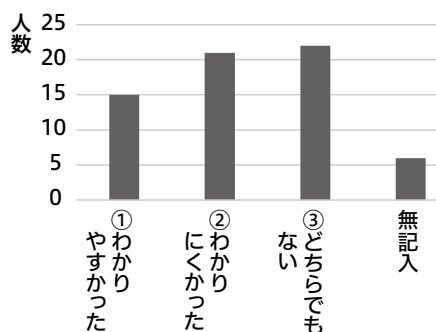
これまで議会報告会に参加したことはありますか



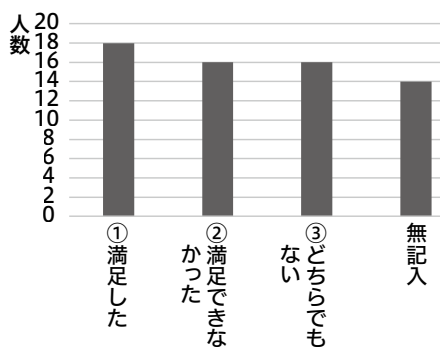
報告会の時間(約2時間)はいかがでしたか



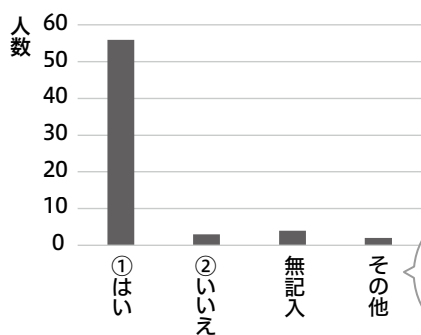
議員による議会報告の内容について



意見交換の内容について



次回も議会報告会に参加したいか



検討する
テーマ内容
による

議会報告会をより知りたい方へ...

- 議会報告会の詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。
- 佐野市議会の YouTube チャンネル 『佐野市議会 (議会報告会 ch)』で、議会報告会の様子をまとめた動画を公開しています。

市議会
ホームページ



佐野市議会
(議会報告会 ch)



ぜひ
チェックして
ください!!

令和6年度

佐野市議会

令和6年11月23日(土・祝)に、市役所1階市民活動スペースにおいて、令和6年度佐野市議会報告会を開催しました。今回は、前半「議会報告」、後半「意見交換」として、特に市民の方との「意見交換」の時間を多めに取り、多数の貴重なご意見をいただきました。多くの皆様にご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。内容及び皆様からのアンケート結果とご意見の一部をご紹介します。

前半

◆議会報告

- ①令和6年9月定例会について
- ②令和5年度決算について
- ③指定管理者制度の在り方調査特別委員会について



後半

◆意見交換

- 1) ①耕作放棄地対策について ②人口減少対策について ③義務教育学校について
④中学校部活動地域移行について ⑤閉校跡地利用について ⑥佐野市の防災について
- 2) 市議会及び議員に対して望むこと
- 3) その他(議会報告・自由意見)

◆議会報告会や議会に対してのご意見・ご感想

報告会について

- 年に数回、何度も開いてほしい。色んな時、場所で開いて足が不便の方や、予定の合わない方など、より多くの市民が参加できるようになることを期待しております。市議一同と市民が双方向で開かれた場で交流できることは大切。

議会、議員への意見

- 儀式的になりつつあり適度な緊張感がより必要である。自分の言葉で語ってほしい。①質問の内容が市政以外の事かと思われるものがある。市政の内容に限定してほしい。②質問の内容について議員自身が最終的にどうしたいという意見がないといけな。質問しただけみたいな事もある。もう少し地域の実態課題に応じた内容にしてほしい。それには自ら市民の意見を聞くことが大切。

議会報告について

- 議会報告は資料、説明不足であった。

指定管理者制度の在り方調査特別委員会について

- 金子市長と当該事業者との関係性に関する疑義について関心がありました。それから意見交換がとても良かった。
- 指定管理者制度についての賛成・反対等ハッキリしない答えが散見されました。

意見交換について

- 6つのテーマが設けられたが、質問者の意見により内容のかたまりがあった。各テーマについて時間を設定し、平均的に話し合いが出来ると良かった。又議会としての主体的な考え、方向性を聞きたくて来たが残念な答えしか聞けなかった。

意見交換で感じた意見への感想など

- 佐野市の未来について熱心な意見が聞けて良かったです。少しでも明るい未来になる様みんなで協力したいと思います。
- 20代、30代の参加が少なく、残念に思います。





ファンガレイ市

中学生派遣訪問報告会

11月9日(土)に佐野市議会
議場においてファンガレイ市
中学生派遣訪問報告会が開催
されました。

ファンガレイ市中学生派遣
訪問は、本市の中学生10名が
7日間の日程で、ニュージー
ランドのファンガレイ市の
異文化体験を通し、英語力や
コミュニケーション能力の向
上、グローバルな視野と感覚
の醸成等を図ることを目的と
して実施されました。

様々な体験が紹介された後、
市議会議員からの質問に対
し、生徒の皆さんはそれぞ
れの経験を踏まえ堂々と発言
していました。



新春号の案内

市議会だより新春号は、佐野市議会ホームページ
での配信のみです。

全議員の今年の抱負が掲載してありますので、
ぜひご覧ください。



佐野市議会だより

検索

新春号URL https://www.city.sano.lg.jp/sp/shigikai/1_1/17_5/25359.html



編集委員会

委員長	久保 貴洋
委員	小倉 健一
委員	横井 帝之
委員	早川 貴光
委員	慶野 常夫

編集後記



冬も終盤にさしかかり、
春の日差しの暖かさが感
じられる頃になりました。
12月定例会では、19人の
議員による一般質問が行
われ、活発な議論が交わ
されました。また、指定
管理者制度のあり方調査
特別委員会への百条権限
の委任も議決されました。
今年2月で佐野市政も
20年を迎えます。2月定
例会では、予算審査特別
委員会が開催され、一年
間の予算について様々な
質疑が行われます。ぜひ
傍聴にお越しいただき、
議員と職員の議論を見て
いただければ幸いです。

(早川記)

佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。

佐野市議会

議会からこんにちは 2025.2.1 (16)

佐野市議会事務局
〒327-8501 佐野市高砂町1番地

電話：0283-20-3036 ファックス：0283-21-4411
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp